

# 小規模企業育成計画(Ⅰ)・(Ⅱ)

評価報告：2000年3月  
現地調査：1999年1月

## 1 事業の概要と国際協力銀行の協力

### (1) 背景

タイでは、1980年代に入ると、重要な政策目標として、余剰人員を抱える農業部門からの労働力吸収、および都市/地方間の所得格差是正が掲げられ、その目標達成のために地方の小規模企業の育成が図られていた。さらに1980年代半ばからは、タイの経済基盤強化のためには小規模企業の強化・振興が不可欠とされ、具体的振興策が求められるようになっていた。

### (2) 目的

タイの小規模企業にとって調達が困難な低利・中長期・固定金利の資金を提供することにより、それら企業の育成・強化を図る。小規模企業の育成・強化は、ひいてはタイ経済の基盤強化につながると期待される。

### (3) 事業範囲

本事業は開発金融借款であり、サブ・ローンの条件は以下のとおり。

対象企業：(Ⅰ)では借入れ前の純固定資産が1,000万バーツ以下、(Ⅱ)では2,000万バーツ以下の企業

融資対象：工場の建設・拡張・近代化、および機械設備・スペア部品購入

融資条件：融資限度額は、(Ⅰ)では

20万バーツ以上500万バーツ以下、(Ⅱ)では20万バーツ以上1,000万バーツ以下

金利は、(Ⅰ)が12.65%、(Ⅱ)が13% (いずれもアプレイザル時点)

返済期間は(Ⅰ)で6~8年、(Ⅱ)で5~15年

円借款比率はサブ・ローンの70%

(国際協力銀行から借入人への融資条件の詳細については、次ページ2.(2)を参照)

### (4) 借入人/実施機関

いずれもタイ産業金融公社(IFCT)(タイ政府による保証)



## (5) 借款契約概要

	(I)	(II)
貸付承諾額 / 実行額	1,500百万円 / 1,500百万円	1,000百万円 / 995百万円
借款契約調印	1987年9月	1990年2月
借款契約条件	金利3.0%、償還25年(うち据置7年) 一般アンタイド	金利2.7%、償還30年(うち据置7年) 一般アンタイド
貸付完了	1992年9月	1995年6月

## 2 評価結果

### (1) サブローン融資実績

事業範囲： 対象エンドユーザー、融資対象・条件とも当初計画どおりに実施。

貸付承認実績： (I) ; 156件、4億910万パーツ(円借款分は、2億8637万パーツ)  
(II) ; 64件、2億8,660万パーツ(円借款分は、2億62万パーツ)

規模別内訳： (I) ; 従業員10人以下12%、11~50人63%、51人以上25%  
(II) ; 従業員10人以下11%、11~50人45%、51人以上44%

用途別内訳： (I) ; 工場新設42%、設備拡充53%、工場移転などその他5%  
(II) ; 工場新設43%、設備拡充56%、工場移転などその他1%

産業別内訳

業種別内訳は、以下の表のとおり

	(I)	(II)
農産関連・鉱業・食品飲料	34.5%	23.5%
繊維・アパレル・皮革製品	5.4%	13.2%
木製品・家具	7.5%	7.2%
紙・印刷・出版	2.7%	6.5%
化学・ゴム・精油・石油製品	13.4%	14.1%
非金属(鉱物)製品・陶器・ガラス製品	7.8%	0.3%
金属加工・電気機器・一般機械	17.8%	16.6%
産業用ガス・上水道・倉庫など	3.8%	0.0%
建築用資材	0.0%	8.6%
サービス業	4.6%	9.1%
その他の産業	2.4%	0.9%
合計	100.0%	100.0%

### (2) 実施体制(実施および完成後の運営・維持管理)

実施体制

本事業では、次ページ図のような資金の流れにより、サブ・ローンが融資された。

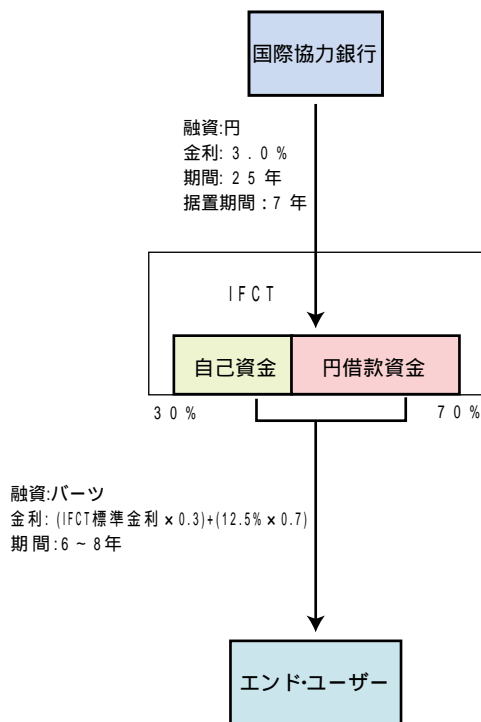
サブ・ローン回収状況

サブ・ローンの3ヶ月未満の延滞発生率は、年々減少しているのに対し、1年以上の延滞は金額、件数ともに横這い状態であり、対策が必要と思われる。

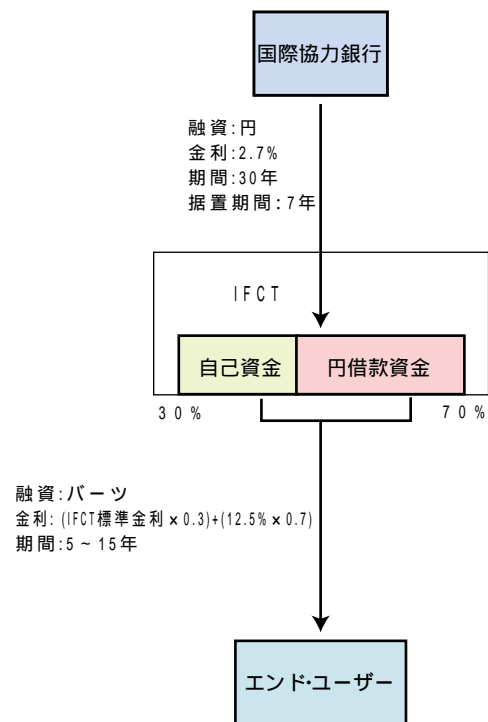
リボルビング・ファンド

IFCTではリボルビング・ファンドを設け、二次貸付を実施。ただし、近年はIFCTが小規模企業向け融資を控えていたこと、また経済危機の影響により、リボルビング・ファンドの活用は限定的である。

(I)



(II)



### 3 事業効果

#### (1) 小規模企業の育成・強化

当初の目的どおり、投資意欲が旺盛な小規模企業に対し、長期・固定・低利資金を供給することにより、その成長が促進された。また、多くのエンド・ユーザーが、本事業での実績を梃子に、以前は非常に困難であった民間金融機関からの長期資金調達を実現している。

#### (2) 実施機関の能力向上

IFCTは、本事業を契機に小規模企業向け融資のノウハウの向上と蓄積に努めるようになった。その結果、短期の延滞が着実に減少するなど、IFCTの債権管理能力の向上が図られた。

### 4 教訓

(中) 小規模企業向けの制度金融(開発金融借款)は、サブ・ローンを通じて(中) 小規模企業に直接的な効果を与えるのみならず、制度金融からの借入実績をエンド・ユーザーが「信用」として利用することにより、その信用力を向上させるという副次的効果をもたらすという面においても有効である。



エンド・ユーザーの事業  
～ 施盤工場



エンド・ユーザーの事業  
～ 施盤工場



エンド・ユーザーの事業  
～ 養豚場